

全苗連だより

Vol. 129 (9月号)

令和6年9月2日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和7年度林野庁予算概算要求が提出される(速報)

予算の重点事項のテーマは『カーボンニュートラルの実現・花粉症解決に向けた森林・林業・木材産業総合対策』

林野庁は8月30日に、令和7年度予算概算要求を財務省へ提出しましたので、その概要をお伝えします。

なお、公共事業の所要額に関しましては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の一環としてその確保を目指すこととしています。同対策に必要な経費は今年度(2024年度)補正予算で措置される見通しとなっているため、8月末の概算要求時には金額を明示しない事項要求となっています。

令和7年度林野関係予算の重点事項のテーマは『カーボンニュートラルの実現・花粉症解決に向けた森林・林業・木材産業総合対策』となっており、

○ 循環利用に取り組む林業経営体への森林の集積・集約化、国産材安定供給に向けた林業・木材産業の生産基盤強化、林業のデジタル化・イノベーションの推進、JAS 構造材や CLT 等の建築物への利用促進、「緑の雇用」等による担い手の育成・確保、山村地域の活性化

○ 花粉症対策として、伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散防止などを実施

○ 森林吸収源の機能強化、国土強靱化に資する森林整備・治山対策の着実な推進を掲げて、森林経営管理法の改正(来年の通常国会で改正、施行は再来年度(2026年度))を念頭に、循環利用に取り組む林業経営体への森林の集積・集約化対策を目玉要求に位置づけているほか、昨年度から重点を置いている花粉症対策についても伐採・植え替えの加速化やスギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の増産などに取り組む方針となっています。

なお、昨年の柱は「花粉削減・グリーン成長総合対策」でしたが、花粉症対策関係予算を別立てにして当初予算に正式に位置づけているところです。

それでは、種苗関連施策に絞って見てみます。

概算要求のポイントとしては、次のとおりです。

○森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策【参考資料1】

・林業・木材産業循環成長対策(拡充)【参考資料2】

・循環型資源基盤整備強化対策(組替新規)【参考資料3】

コンテナ苗生産基盤施設等の整備

⇒ 施設整備要求を踏まえ増額要求

・優良種苗生産推進対策(拡充)【参考資料4】

⑤苗木生産技術の向上等

⇒ 研修会等の実施(昨年同様)

○花粉の少ない森林への転換促進総合対策(新規)【参考資料5】

うち花粉の少ない苗木の生産拡大【参考資料6】

(3)民間事業者による苗木増産の支援

⇒ 花粉の少ない苗木の生産力の増大に応じ補助率を変動する仕組み(昨年同様)

(5)増産苗木広域流通等の支援

⇒ 苗木の安定供給を図るため需給協議会の運営や広域流通を促進する取組を支援(昨年同様)

【参考資料1】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【令和7年度予算概算要求額 15,606,127 (14,397,655) 千円】

<対策のポイント>

カーボンニュートラルの実現に向け、森林の循環利用を促進する観点から、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加(35百万m³ [令和4年] → 42百万m³ [令和12年まで])

<事業の全体像>

1. 森林の集約化モデル地域実証事業

・循環利用に取り組む林業経営体へ森林の集積・集約化を進めるための、地域の森林の将来像の作成・共有、境界確定、関係者間でのデジタル森林情報の共有等を支援

2. 林業・木材産業循環成長対策

・路網の整備・機能強化、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、高性能林業機械の導入とともに、木材加工流通施設、木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備、公共建築物等の木造・木質化等を支援

3. 林業デジタル・イノベーション総合対策

・林業機械の自動化・遠隔操作化技術や森林内の通信技術・木質系新素材の開発・実証、先進技術を活用する技術者の育成、デジタル林業戦略拠点の構築等を支援

4. 建築用木材供給・利用強化対策

・木造中層建築物に係る設計や木質耐火部材・JAS構造材の技術開発、製材やCLT等を用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証、木造建築物の設計者・施工者の育成等を支援

5. 木材需要の創出・輸出力強化対策

・地域協議会への木材利用の専門家派遣、木製家具・木工品等の輸出促進の取組、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、きのこと糞菌床を家畜の敷料等に活用する林畜連携の取組等を支援

6. 森林・林業担い手育成総合対策

・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、林業大学校で学ぶ就業前の青年への給付金給付、林業経営体の労働安全対策等を支援

7. 林業・木材産業金融対策

・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

8. 森林・山村地域活性化振興対策

・「半林半X」を含む里山林の整備・活用に取り組む組織の確保・育成、活動の実践による山村地域活性化を支援

【参考資料2】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち

林業・木材産業循環成長対策【拡充】

【令和7年度予算概算要求額 7,138,423 (6,510,953) 千円】

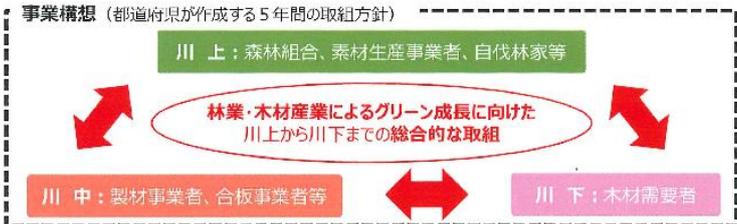
＜対策のポイント＞

林業・木材産業によるグリーン成長に向け、林業の生産基盤の強化や再造林の低コスト化を図るとともに、木材需要の拡大及び木材需要に的確に対応できる安定的かつ持続可能な供給体制の構築を支援します。

＜事業目標＞

国産材の供給・利用量の増加（35百万m³ [令和4年] → 42百万m³ [令和12年まで]）

＜事業の内容＞	＜事業イメージ＞
<p>循環型林業の推進に向け、搬出間伐の実施や路網の整備・機能強化、再造林の低コスト化等の取組を一体的に支援するとともに、高性能林業機械の導入、エリートツリー等の原種増産技術の開発や苗木の生産技術向上等の取組を支援します。</p> <p>また、木材需要の拡大及び木材産業の基盤強化に資する、公共建築物等の木造・木質化、木材加工流通施設の整備等を支援します。</p>	<p>○循環型資源基盤整備強化対策 ・間伐材生産・路網の整備・機能強化（復旧期限の延長）・低コスト再造林対策 ・コンテナ苗生産基盤施設等の整備</p> <p>○優良種苗生産推進対策（ヒノキの着花特性調査の短期間化）</p> <p>○高性能林業機械の導入 ○森林整備地域活動支援対策 ○林業の多様な担い手の育成</p> <p>○山村地域の防災・減災対策</p> <p>○森林総合利用対策（森林活（もりかつ）による森林づくり支援等の促進） ○森林資源保全対策</p>



＜事業の流れ＞



※ 国産材においては、直轄で実施

- 木材需要拡大・木材産業基盤強化対策
- ・木材加工流通施設等の整備（省人化や工場再編等への支援を強化）
 - ・木質バイオマス利用促進施設の整備（燃焼灰活用への支援を強化）
 - ・特用林産振興施設等の整備（耐震施設の整備等の支援を強化）
 - ・公共建築物等の木造・木質化（商業施設等の木質化への支援を追加）

【お問い合わせ先】 林野庁計画課（03-6744-2082）

【参考資料3】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち林業・木材産業循環成長対策のうち

循環型資源基盤整備強化対策（組替新規）

【令和7年度予算概算要求額 7,138,423 (6,510,953) 千円の内数】

- ・森林経営管理制度を適切に運用するとともに、林業成長産業化を図っていくため、意欲と能力のある林業経営者を育成し、森林資源を循環利用していくことが必要。
- ・原木の安定供給に資するため、人工林資源が充実したエリア（生産基盤強化区域）や林業適地（効率的施業区域）における、路網整備や意欲と能力のある林業経営者等が行う間伐材生産、伐採後の再造林や再造林に向けた苗木生産について支援。

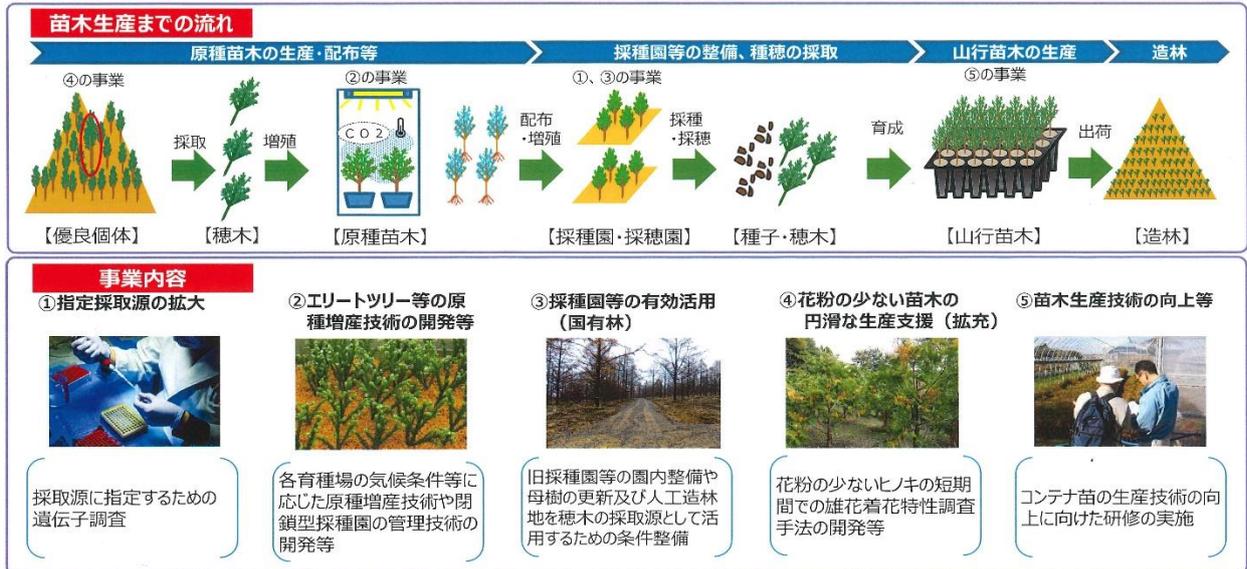
＜事業の内容＞	＜事業イメージ＞
<p>循環型資源基盤整備強化対策</p> <p>人工林資源が充実したエリア（生産基盤強化区域）や林業適地（効率的施業区域）において行う、以下の取組を支援します。</p> <p>＜支援内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 路網整備・機能強化 路網の開設のほか、近年の自然災害の激甚化、木材生産量の増加等に対応するための既設路網の機能強化や復旧を支援（復旧期限（過去3か年以内）の延長） ○ 間伐材生産 意欲と能力のある林業経営者等が行う間伐材生産について支援 ○ 低コスト再造林対策 低密度植栽等の省力・低コスト造林や、必要な資機材の整備、川中等の連携構築に対して支援 ○ コンテナ苗生産基盤施設等の整備 再造林の省力・低コスト化に必要なコンテナ苗の生産基盤の強化等を支援 ○ 関連条件整備活動 上記取組に必要な森林所有者の同意取り付けや森林作業道整備、鳥獣柵の整備等を支援 <p>＜事業主体＞ 都道府県、市町村、選定経営体（※）等 （※「意欲と能力のある林業経営体」及び育成を図る林業経営体）</p> <p>＜事業の流れ＞</p> <p>定額（1/2、2/3以内等）等 定額（1/2、2/3以内等）等</p> <p>国 → 都道府県 → 林業経営体等</p>	<p>＜路網整備＞</p> <p>＜間伐材生産＞</p> <p>連携した取組を支援</p> <p>＜低コスト造林＞</p> <p>＜苗木生産＞</p>

【参考資料 4】

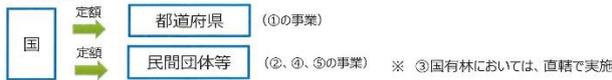
森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち林業・木材産業循環成長対策のうち
優良種苗生産推進対策（拡充）

【令和7年度予算概算要求額 7,138,423（6,510,953）千円の内訳】

再造林の低コスト化に資するエリートツリー等の優良種苗の供給拡大を加速するため、苗木の生産技術の向上や花粉の少ないヒノキの短期間での雄花着花特性調査手法の開発等を支援する。



＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 (④の事業) 林野庁森林利用課 (03-3501-3845)
 (①、⑤の事業) 整備課 (03-3502-8065)
 (②の事業) 研究指導課 (03-6744-2312)
 (③の事業) 業務課 (03-6744-2325)

【参考資料 5】

花粉の少ない森林への転換促進総合対策（新規）

【令和7年度予算概算要求額 3,372,067（-）千円】

＜対策のポイント＞

花粉の少ない森林への転換促進に向け、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、スギ花粉の飛散量の予測・飛散防止等の対策を推進します。

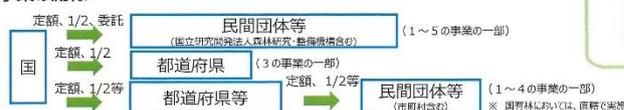
＜政策目標＞

スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減 [令和15年度まで]、5割削減 [令和35年度まで]）

＜事業の内容＞

- スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**
スギ人工林伐採重点区域における、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業、森林所有者への働きかけ支援による意欲ある林業経営体への森林の集約化や、花粉発生源対策に係る普及啓発等を支援します。
- スギ材の需要拡大**
住宅分野におけるスギ材製品の利用促進、集成材工場や保管施設等の整備、花粉症対策木材の利用拡大に向けた機運の醸成を支援します。
- 花粉の少ない苗木の生産拡大**
官民を挙げた花粉の少ない苗木の増産体制の整備、スギの未熟種子から苗木を大量に増産する技術の開発、花粉の少ない苗木の広域流通を支援します。
- 林業の生産性向上及び労働力の確保**
意欲ある木材加工業者等に対する高性能林業機械の導入、農業や建設業など他産業との連携等を支援します。
- 花粉飛散量の予測・飛散防止**
花粉飛散予測に資するスギ雄花の花芽調査等への支援や航空レーザ計測による森林資源情報の高度化を実施するとともに、森林現場におけるスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 発生源対策

- スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**
スギ人工林伐採重点区域において
 > 伐採・植替えの一貫作業と路網整備を推進
 > 意欲ある林業経営体への森林の集約化の促進
 ・花粉発生源対策に係る普及啓発
- スギ材需要の拡大**
・住宅分野におけるスギ材製品の利用促進
・集成材工場、保管施設等の整備
・花粉症対策木材の利用拡大に向けた機運の醸成
- 花粉の少ない苗木の生産拡大**
・森林研究・整備機構における原種増産施設の管理
・都道府県における採種園・採穂園の整備
・民間事業者によるコンテナ苗増産施設の整備
・スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発
・苗木の生産量が多い産地から少ない地域への供給の促進

2. 飛散対策

- スギ花粉飛散量の予測**
・スギ雄花の着花状況の調査等の実施
・花粉飛散予測の高度化に向けた航空レーザ計測・解析を推進
- スギ花粉の飛散防止**
・森林現場でスギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査を支援

【お問い合わせ先】 林野庁森林利用課 (03-3501-3845)

【参考資料6】

花粉の少ない森林への転換促進総合対策のうち

花粉の少ない苗木の生産拡大

【令和7年度予算概算要求額 3,372,067（-）千円の内数】

＜対策のポイント＞

花粉の少ない苗木の生産拡大に向けて、**原種苗木の増産施設の管理、種子を増産するための採種園や苗木を増産するためのコンテナ苗生産施設の整備等**官民を挙げた苗木増産体制の整備に加え、スギの未熟種子から**苗木を大量増産する技術の開発**や**増産した苗木の広域流通**を支援します。

＜事業目標＞

○ スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加（約5割【令和3年度】→9割以上【令和15年度まで】）

＜事業の内容＞

（1）森林研究・整備機構における原種増産施設の管理

都道府県等による採種園等の整備に要する原種苗木を増産するため、（国研）森林研究・整備機構による原種増産施設の管理を支援します。

（2）都道府県における採種園・採穂園の整備

花粉の少ない苗木を生産するための種穂を増産するため、都道府県・認定特定増殖事業者による採種園・採穂園の造成・改良及び採種園・採穂園を管理する技術者の育成・確保を支援します。

（3）民間事業者による苗木増産の支援

花粉の少ない苗木を生産を拡大するため、苗木生産事業者による苗木増産施設の整備を苗木の生産力に応じて支援します。

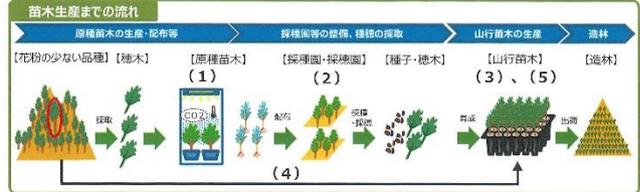
（4）細胞増殖による苗木大量増産の支援

細胞増殖技術を用いて、スギの未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発を支援します。

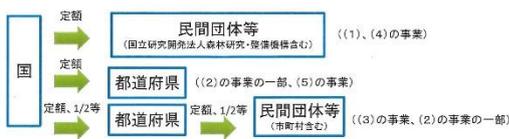
（5）増産苗木広域流通等の支援

生産状況に地域差があることや需要変動リスクの軽減を踏まえた苗木の安定供給を図る、需給協議会の運営や苗木の広域流通の促進に向けた取組を支援します。

＜事業イメージ＞



＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】（（3）、（5）の事業） 整備課（03-3502-8065）
（（1）、（2）、（4）の事業） 研究指導課（03-6744-2312）

全苗連・苗組の行事予定

- 9月4日 令和6年度全苗連第2回理事会(カナムホル(札幌市民ホール))
- 9月4～5日 第8回全苗連生産者の集い(北海道)
- 10月20日 全国育樹祭(福井県越前市)
- 10月31日 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(福島県)
- ～11月1日
- 11月14～15日 近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(三重県)
- 11月18日 九州地区林業用種苗需給連絡協議会(福岡県)
- 11月19日 九州苗連協議会総会(福岡県)
- 11月21日 関東苗連協議会総会(神奈川県厚木市)
- 11月25日～26日 中国地区林業用種苗需給連絡協議会(島根県)
- 11月29日 東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給連絡協議会(三重県)
- 12月6日 令和6年度林業種苗生産者講習会テキスト更新委託事業第2回検討委員会(日林協会館)
- 12月12日～13日 四国地区林業用種苗需給連絡協議会(徳島県)